

2011年度

安 全 報 告 書



青い森鉄道株式会社

この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取り組みや安全の実体をまとめたものです。ご意見・感想をお寄せください。

目 次

1. お客様はじめ沿線地域住民の皆さんへ・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
2. 安全確保に関する基本的方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
3. 安全目標・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
4. 安全管理体制・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
 - (1) 安全管理組織
 - (2) 各管理者の役割
5. 事故等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
 - (1) 鉄道運転事故
 - (2) 災害
 - (3) 輸送障害
 - (4) インシデント
6. 行政指導等・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
7. 安全確保の取組み・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
 - (1) 教育訓練等
 - (2) 安全の水平展開
 - (3) 安全会議の開催
 - (4) 年末年始安全総点検
8. 異常時訓練等の実施・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
 - (1) 踏切事故防止訓練
 - (2) 実車訓練会
 - (3) 総合脱線復旧訓練
9. 人材の育成・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
10. その他・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
 - (1) お客様の意見等
 - (2) 関係者との協議
 - (3) 保健衛生対策等
11. 安全報告書へのご意見に対する連絡先・・・・・・・・ P 6

1. お客様はじめ沿線地域住民の皆さんへ

通勤通学など、地域の生活路線としての役割を担う青い森鉄道の最優先課題は、何と言っても「安全の確保」です。毎日、地域の人たちの命を運んでいるという使命感を持ち、日々安全・安定輸送に努めております。幸い、平成14年12月の開業以来、これまで無事故で運行することが出来ましたが、これも地域の皆さまのご理解とご協力の賜物であり、沿線地域の皆様に心から感謝を申し上げます。今後とも、なお一層の安全確保に努め、沿線地域の皆様の信頼が得られるよう、また皆様に頼りにされる鉄道を目指して取り組んで参ります。

当社は、一昨年12月に目時・青森間が全線開業し、現在、第三セクターでは日本一長い営業距離である121.9キロの区間を運行しています。また、指定管理者として、鉄道施設の維持管理も実施しております。全線開業後も変わることなく無事故の伝統を守り続けるとともに、これまでの安全確保に対する取り組みを続けて参りたいと思っております。

これからも、沿線地域の皆様に信頼される「青い森鉄道の安全文化」を確立することを目指して、社員一同心を一つにして精進して参ります。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実体について公表するものです。ぜひご一読いただき、皆様のご意見、ご助言などを頂ければ幸いです。

青い森鉄道株式会社
代表取締役社長 小林 巧一

2. 安全確保に関する基本的方針

当社では、安全第一の意識に基づき安全に関わる行動規範を安全管理規程に次のように定め、社長以下全社員に周知・徹底しております。

- (1) 安全の確保は輸送の生命である。
- (2) 規定の遵守は安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は安全の要件である。
- (4) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- (5) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- (6) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

3. 安全目標

当社では、2011年度青い森鉄道安全計画の中において下記のとおり定め、目標達成に社員一同取り組みました。

鉄道運転事故	
・列車事故（衝突・脱線・火災）	0件
・人身障害事故	0件
・踏切障害事故	0件

○安全目標達成のための総点検の実施

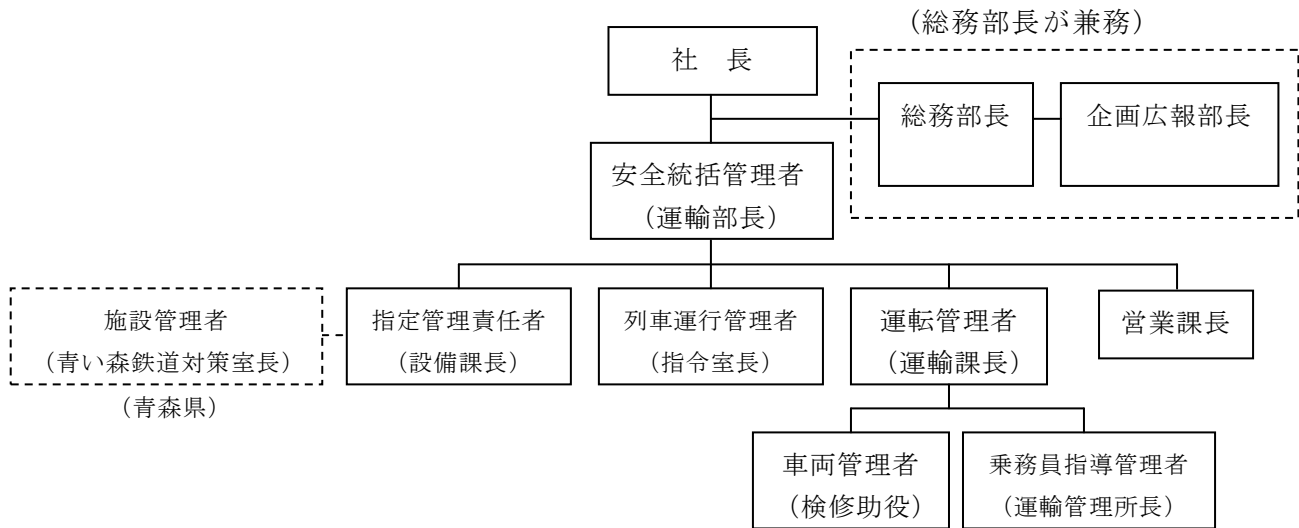
- ・GW期間中における輸送の安全確保について（4月26日～5月8日）
- ・夏季における輸送の安全確保について（7月26日～8月22日）
- ・年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施について（12月10日～1月10日）

○2011年3月の大災害を踏まえて、青い森鉄道線内の再調査を行い「地震・津波対応マニュアル」を作成し、災害発生時にお客様並びに社員の安全確保と早期復旧に向けた取り組みを図ることとしました。

4. 安全管理体制

(1) 安全管理組織

当社では、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織体制の中で、安全統括管理者・運転管理者・その他の管理者等が、それぞれの責務を明確にした上で安全確保のための役割を担っています。



(2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 【運輸部長】	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者 【運輸課長】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
指定管理責任者 【設備課長】	安全統括管理者の指揮の下、設備に関する事項を統括する。
(施設管理者) 【青い森鉄道対策室長】	輸送の安全の確保に支障を及ぼすことのないよう施設を維持管理する。
列車運行管理者 【指令室長】	安全統括管理者の指揮の下、輸送計画の作成及び指令業務に関する事項を管理する。
車両管理者 【検修助役】	運転管理者の下、車両に関する事項を管理する。
乗務員指導管理者 【運輸管理所長】	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
人事・財務担当 【総務部長】	安全統括管理者及び指定管理責任者と連携し、輸送の安全の確保に必要な予算・要員の指定等を統括する。
広報・宣伝担当 【企画広報部長】	安全統括管理者及び指定管理責任者と連携し、輸送の安全の高揚をうながす広報活動を統括する。

5. 事故等の状況

(1) 鉄道運転事故

2011年度は人身障害事故と踏切障害事故が各1件ずつ発生しております。

	項目	発生件数(件)	特記事項
1	人身障害事故	1	運休 4本 遅延 11本
2	踏切障害事故	1	運休 42本 遅延 10本

(2) 災害(地震、暴風雨、雪害等による鉄道施設への被害)

鉄道施設に関しては、第3種鉄道事業者である青森県での公表となります。

(3) 輸送障害

2011年度における30分以上の列車遅延や列車運休が発生した輸送障害は、次の表の通りです。

	項目	発生件数(件)	特記事項
1	雨害	6	運休該当多数 遅延該当多数
2	風害	7	運休該当多数 遅延該当多数
3	震害	3	運休該当多数 遅延該当多数
4	雪害	6	運休該当多数 遅延該当多数
5	ブレーキ装置	1	運休1本 遅延1本
6	運転保安装置	1	運休3本 遅延0本

(4) インシデント

2011年度におけるインシデントは、2件発生しております。

- ・速度超過(浅虫温泉駅～西平内駅間での風による速度規制時)
- ・本線逸走(青森信～東青森駅間) 【所属車両 JR東日本】

6. 行政指導等

2011年度における東北運輸局から当社への行政指導はなかったものの、雪害による輸送障害が多く発生したことから、今年度の雪害対策について万全を期することにしております。

7. 安全確保の取組み

(1) 教育訓練等

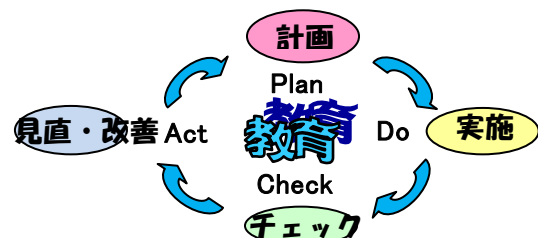
○運転士の教育

- ・定例訓練

：年度計画表に基づき、全運転士を対象に毎月実施しています。

- ・フォローアップ研修

：年度計画表に基づき、JR東日本盛岡支社に委託してシミュレーションを主体とした異常時対応の研修を実施しています。



○施設保守技術員の教育

- ・年間計画表に基づき、施設保守技術員（協力会社社員含む）に対して施設の保守管理の重要性について定例的に机上・実技で教育しています。特に線路閉鎖責任者・軌道施工管理者に保守用車の運転取扱い等を指導しています。

(2) 安全の水平展開

JR 東日本の青森・八戸地区指導センターが開催する「安全推進会議」に毎月参加し、情報の共有化と安全の取組みに対する水平展開を図っています。

(3) 安全会議の開催

各現業機関においては、毎月1回「安全の日」を制定し、協力会社と安全に係わる情報交換と事事故事例等を活用して各種事故防止に努めています。また、必要に応じては、現場パトロール等で改善を行なっております。

(4) 年末年始安全総点検

12月から1月にかけての年末年始の繁忙期を控え、社長をはじめとする各担当部長が、青森・八戸の両現場、並びに各駅の取組み状況についての安全点検を行っております。

8. 異常時訓練等の実施

(1) 踏切事故防止訓練

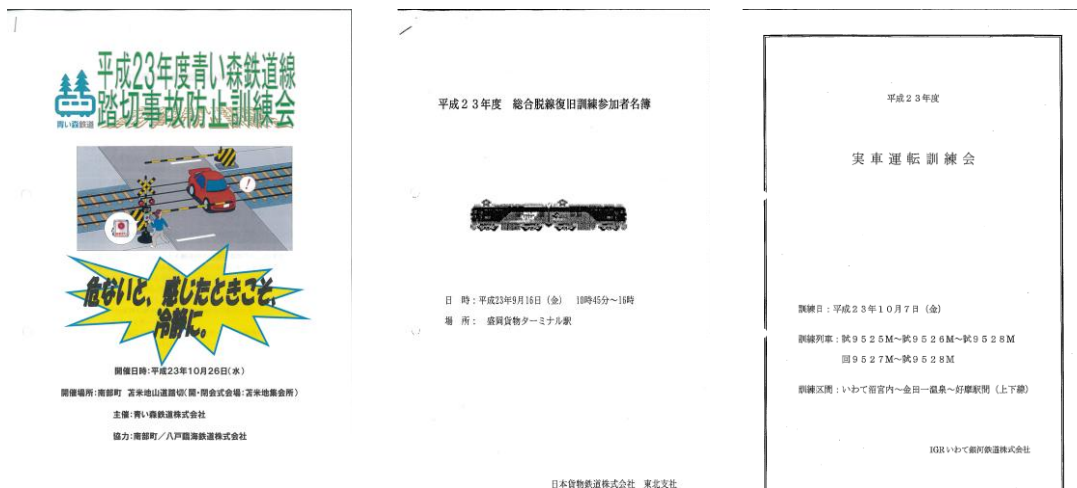
秋の全国交通安全運動期間中、踏切事故防止啓発を図るために関係警察署、自治体、JR 東日本八戸地区指導センター及び地域住民の参加を戴き、訓練会を実施しました。また、踏切事故防止のチラシ等を配布し啓蒙活動も行ないました。

(2) 実車訓練会

JR 東日本青森地区指導センターの主催する訓練会が10月24日に青森構内で、また IGR が主催する IGR 線の訓練会が10月7日に好摩～二戸間で開催され異常時の適切な対処の取組みを行いました。

(3) 総合脱線復旧訓練

JR 貨物会社東北支社の主催する総合脱線復旧訓練会が9月16日に盛岡貨物ターミナル駅で開催され、E Lの載線並びに異常時の取扱いの訓練を行いました。





(平成 23 年 10 月 26 日の踏切事故防止訓練)

9. 人材の育成

- ・平成 23 年度 新入社員研修（運転士 2 名・施設保守技術員 1 名・総合職 8 名）を 4 月 2 日～4 月 20 日に実施し、社会人としての規律・規範・マナーの向上を図った。
- ・2011 年度 動力車操縦者運転免許試験・・・3 名合格（JR 東日本委託）
- ・フォローアップ研修・・・12 名、運転士（JR 盛岡総合訓練センター）
- ・内部監査員の育成・・・2 名、運輸安全マネジメント内部監査員研修会参加

10. その他

(1) お客様の意見等

- ・「お客様の声」ボックス並びにメール投稿に対するお客様の意見を収集し、輸送サービスの改善に努めています。
- ・駅委託者並びに駅サポーターによるお客様の意見を収集し、お客様サービスの改善に努めています。
- ・青森・野辺地・三沢・八戸駅配置のアテンダントを列車に乗車させて乗車券の発売・グッズ販売等を実施するなどして、お客様の案内サービスに努めています。
- ・「鉄道の日」には、「ゆるキャラまつり」「鉄道フェスティバルイン東北」等の各種イベントに参加しながらお客様の意見等を集約し、サービスの向上に努めています。

(2) 関係者との協議

- ・青森県鉄道警察連絡協議会に参加し、情報交換と各種課題解決を図りながら、お客様が安全・安心な鉄道のご利用ができるように努めております。
- ・消防署による AED を含めた救命に必要な応急手当等の講習を受講しました。
- ・第 3 種鉄道事業者の窓口である青い森鉄道対策室とは常に連絡を密にし、異常事態の発生時並びに輸送量の変動に対する情報交換に努めております。

(3) 保健衛生対策等

- ・睡眠時無呼吸症候群健診
：睡眠時無呼吸症候群に関する問診並びにスクリーニング検査を実施し、自覚症状の把握並びに事故防止に対する問診を実施しました。
- ・新型インフルエンザ対策として予防接種の実施（H.23.12）
- ・その他感染予防に必要な保護具と衛生用品の整備（H.23.12）

11. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組に対するご意見をお寄せください。

青い森鉄道株式会社お客さまご案内窓口

TEL 017-752-0330 FAX 017-781-3831

E-mail tetsudou@aoimorirailway.com

■月～金 9:00 ～ 17:30 （祝休日を除く）